

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和6年度）に関する意見等

資料3-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
①	1	1	多様性・ユニバーサルデザイン理解促進事業	生活環境部	男女共生課	市岡委員	UD体験学習は小学生とその保護者対象のみ開催し、R5年度開催していた一般県民対象を実施しない理由を説明ください。	R4年度は子ども向け（小学生とその保護者）の体験学習会を実施し、R5年度は大人向け（学生・社会人）の講演会を実施したところであります。今後も幅広い世代への意識付けを行っていくため、それぞれの年齢層に感心を持っていただける事業内容を検討してまいります。
②	2	4	思春期相談	こども未来局	子育て支援課	市岡委員	②事業費はR5年度では計上がなく、今回計上されている点を説明ください。	・今年度からの新規事業（未来へつながる性と健康の支援事業）において、若い世代が抱える性や生殖に関する悩み相談に対応する相談窓口を設置したため、今年度からの計上としております。
③	3	10	未来へつながる子育て・教育充実事業	教育庁	特別支援教育課	市岡委員	未来へつながる子育て・教育充実事業（2）の令和5年度に関する記載は削除すべきと思われます。確認ください。	新たな主要事業として、「ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業（R5～R7）」において取り組んでまいります。
④				教育庁	特別支援教育課	大竹委員	障がいや個性の違いを尊重し合うには、幼少期のインクルーシブ教育が有効かと思われませんが、福島県では積極的な導入を検討していますか。	インクルーシブ教育につきましては、障がいの有無にかかわらず、子どもたちが同じ場で学ぶ機会を増やすことが重要であり、全ての特別支援学校において、地域の学校等と行事等での共同の取組を通じて、相互理解を深め、相手を思いやる気持ちを育ててまいります。今後は、新たに開校するあだち支援学校と南会津地区特別支援学校でも地元自治体と協力しながら、共に学ぶ環境を整え、多様性を認め合う教育の推進に取り組んでまいります。
⑤	6	23	児童生徒支援事業（日本語指導）	教育庁	義務教育課	中田委員	外国人の子供の教育支援を充実させるべき。 ボランティアによる支援で賄っている状況であり、予算をつけて人材確保する必要があるという声を聞いている。 他県でも顕在化してきている外国人コミュニティによる犯罪（的）行為の原因の1つは、外国人の子供の不登校から始まるとも言えるのではないかと。	日本語指導が必要な児童生徒が多い学校に専任の教員を配置しておりますが、未配置の学校においては、個に応じたきめ細かな指導が課題になっております。この現状を踏まえ、学校に対して、学習や生活場面における効果的な実践事例等を広く周知することに努めてまいります。 また現在、国際課を中心に日本語教育の推進に関する基本方針を策定中であり、状況に応じた教育機会を提供できるよう、学校教育における支援の在り方についても検討を重ねてまいります。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和6年度）に関する意見等

資料3-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑥	9	36		生活環境部	男女共生課	佐藤委員	色に関する次のJIS規格を適用してはいかがでしょうか？ JIS Z 9101：2018（図記号－安全色及び安全標識－安全標識及び安全マーキングのデザイン通則）及びJIS Z9103：2018（図記号－安全色及び安全標識－安全色の色度座標の範囲及び測定方法）	今後カラーユニバーサルデザインガイドブックの改訂にあたり、いただいた御意見を踏まえ検討してまいります。
⑦	26	95		総務部	施設管理課	佐藤委員	県庁舎施設の公共トイレに関して、公共トイレの水洗ボタンと非常ボタンの位置と形状を規定したJIS規格を適用してください。（JIS規格番号は、JIS S0026）	県庁舎施設では、トイレ改修工事で腰掛便器を設置した際にJIS企画を適用しています。
⑧	26	95		保健福祉部	障がい福祉課	佐藤委員	県有施設の公共トイレに関して、公共トイレの水洗ボタンと非常ボタンの位置と形状を規定したJIS規格を適用してください。（JIS規格番号は、JIS S0026）	今後、人にやさしいまちづくり条例に係る施設整備マニュアルを改訂する際には、いただいた御意見を踏まえ検討してまいります。
⑨	26	97	UDの視点に立った改善の実施	総務部	施設管理課	富樫委員	UDの視点に立って現状点検、必要な改善等について、どのような視点で点検し整備するのか説明してほしい。	「福島県公共施設等総合管理計画」に基づき、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、すべての人が安全・安心に利用できるよう、特に衛生設備について、トイレのユニバーサルデザイン化を中心に整備している。
⑩	26	98	県営住宅改善事業	土木部	建築住宅課	富樫委員	「ユニバーサルデザインの考え方のもと、リフォームほか改修工事を実施する」とは、どのように整備されるのか。	既存の県営住宅を誰にでも使いやすいように次のとおり改修する。 ①浴室、洗面所、台所には給湯設備（シングルレバー式水栓）を新設 ②浴室はユニットバスに改修し、手摺りを新設 ③台所と各居室、トイレの段差を解消 ④玄関、トイレに手摺りを設置。扉にはレバーハンドルを設置 ⑤スイッチをワイドスイッチに交換

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和6年度）に関する意見等

資料3-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑪	27	103	交通安全施設等整備補助事業	警察本部	交通規制課	佐藤委員	高度化PICSは視覚障がい者だけではなく、道路横断に時間がかかる高齢者や肢体不自由障がい者にも役立つ仕組みで「ユニバーサルデザイン」です。早急な整備拡充を願います。119も併せて対応してください。	高度化PICSについては、本年（令和6年度）に県内11交差点に設置予定となります。あわせて福島市内4交差点9箇所ですエスコートゾーン横断歩道の整備を行います。今後、地域の実態に応じて、設置について検討してまいります。
⑫	27	107	市町村生活交通対策のための補助事業	生活環境部	生活交通課	富樫委員	主体的に運行するデマンド型集合タクシー事業など、生活交通対策事業の支援について、具体的にどのようなことをするのか説明してほしい。	デマンド型乗合タクシー等の実証運行を行う市町村に対して補助金を交付している。内容については以下のとおり。 なお、令和6年度から補助対象期間を延長した。 ○補助内容 ・実証運行の補助対象期間：1～3年目 ・補助率：1年目1/2(上限5,000千円) 2年目1/3(上限3,000千円) 3年目1/4(上限2,500千円) ・実証内容： ①一般タクシー（いわき市） ②デマンド型乗合タクシー（会津美里町、西郷村、田村市） ③AIオンデマンド乗合タクシー（須賀川、喜多方市） ④通勤通学バス（大玉村） ⑤コミュニティバス（三春町、矢吹町、白河市）
⑬	30	119	①要約筆記者指導者養成研修 ②手話通訳員設置 ③聴覚障がい者情報支援事業 ④失語症者向け意思疎通支援事業	保健福祉部	障がい福祉課	佐藤委員	今の時代はICTも重要なコミュニケーションツールです。障害のある人（特に視覚障害者）がアクセシビリティアプリ機能等を活用して、ICT機器を利用できるように、操作方法等の支援者の養成を加えてください。	令和6年度より③聴覚障害者情報支援センター事業の中でICT相談事業を追加で実施しております。 また、視覚障がい者生活支援センターに委託してICT教室事業も新規で実施しております。（事業費 258千円）記載が漏れており大変失礼いたしました。
⑭	31	121 122 123	インターネット広報広聴事業	総務部	広報課	佐藤委員	ロービジョン者への配慮が抜けています。ホームページでは、サイトの見やすさ、ユーザーが設定した環境に、システム側で合わせる（ユーザーが設定した自分が見やすい環境で、サイト閲覧や利用ができる）という配慮を加えてください。 JIS X8341-3 ウェブコンテンツのJIS規格の達成レベル”AA”を、県のウェブアクセシビリティ指針の達成レベルに適用してください。（静岡県、埼玉県で、すでに目標レベルとして適用しています。）	年齢や身体的特徴、閲覧時の環境にかかわらず、様々な方が利用しやすいサイトとなるよう、JIS規格の達成レベルも含めて検討し、アクセシビリティの向上に努めてまいります。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業計画（令和6年度）に関する意見等

資料3-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課（室）	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑮	32	126	インターネット広報広聴事業	総務部	広報課	大竹委員	ガイドライン以前の問題として、福島県のHPはごちゃごちゃしており情報を探しにくいと感じます。UDを意識したわかりやすく見やすいHPにリニューアルできないのでしょうか。	誰にでも見やすく、利便性の高いサイトを目指し、ページデザイン等のリニューアルを検討してまいります。
⑯	34	139	利便性の向上	選挙管理委員会事務局		佐藤委員	情報アクセシビリティ・コミュニケーション法に基づき、研究の初期段階から、障害のある人にもアクセシブルな電子投票の仕組みとなるよう、研究を進める必要があります。	国の動向を踏まえ、今後の対応を検討してまいります。
⑰	35	144	収納業務委託事業	総務部	税務課	佐藤委員	情報アクセシビリティ・コミュニケーション法に基づき、システムの開発段階から、障がいのある人にもアクセシブルな仕組みとなるよう、開発を進める必要があります。（納税・申告などの諸手続について、情報アクセシビリティ・コミュニケーション法想定の下、開発運用にあたっていただきたい。）	いただいたご意見を踏まえたシステム改修等を検討してまいります。
⑱	35	144	地方税の電子化事業	総務部	税務システム課	佐藤委員	情報アクセシビリティ・コミュニケーション法に基づき、システムの開発段階から、障がいのある人にもアクセシブルな仕組みとなるよう、開発を進める必要があります。（納税・申告などの諸手続について、情報アクセシビリティ・コミュニケーション法想定の下、開発運用にあたっていただきたい。）	いただいたご意見を踏まえたシステム改修等を検討してまいります。
⑲	35	145	オールふくしまスマートシティ推進事業 申請・届出オンライン化事業	企画調整部	デジタル変革課	佐藤委員	情報アクセシビリティ・コミュニケーション法に基づき、システムの開発段階から、障がいのある人にもアクセシブルな仕組みとなるよう、開発を進める必要があります。（納税・申告などの諸手続について、情報アクセシビリティ・コミュニケーション法想定の下、開発運用にあたっていただきたい。）	本システムについては、デジタル庁が定める「デザインシステム」（アクセシブルなUI/UXのガイドライン）を参考とし、アクセシビリティに配慮して構築しております。今後も随時アップデートを行いユーザー視点に立った、より優れたUI/UXの構築を進めてまいります。